

阪神・淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）など、日本は過去20年間に大きな震災に見舞われました。これらの震災により、多くの尊い命が失われ、多数の建築物に甚大な被害がもたらされました。震災後には、各個人においては住宅の耐震安全性が求められ、各企業においては建物の耐震安全性と共に事業継続計画（BCP）が検討がされるようになり、免震についての関心が高くなってきています。

本書では、免震建築がどんなものか、企業の企画担当で事業継続計画上免震の耐震性を知りたい方、あるいは一般の建築物はすでに設計しているが今後免震建築を設計したいと考えている建築家、建築構造技術者を対象に「Q & A形式」で免震建築の全般にわたり、免震の原理から計画・設計・施工、さらに竣工後の維持管理まで基本的な項目が幅広く解説されています。

日本免震構造協会は1993年に発足以来、免震建築の普及活動の中で多く寄せられた質問事項を蓄積しており、これらの質問事項を整理して「Q & A形式」にまとめて、2000年に「はじめての免震建築」を編纂しました。その後「免震建築物に関する建設省（当時）告示」が発行されて、2005年に「考え方 進め方 免震建築」へと改訂されています。今般、東日本大震災での免震建築の耐震性がより実証され、さまざまな用途で免震建築が採用されてきており、最新の技術知見を網羅して、大地震から得た課題を含め免震建築の基本的な事項の説明から最新の実施例を紹介して「免震建築の基本がわかる本」を新しく発行しました。本書にて免震建築の基本および優れた耐震性を理解していただき普及の一助となつて、免震建築がますます増えて行くことを願っています。

2013年 立夏

一般社団法人 日本免震構造協会
「免震建築の基本がわかる本」編集委員会
委員長 加藤 晋平